



人吉ロータリークラブ

The Hitoyoshi Rotary



通 算 2 9 8 1 回
2018年5月18日
第 3 7 回 例 会

ロータリー：変化をもたらす

2017-2018年度 R I 会長
イアン H.S. ライズリー

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎ 2171

例会場

事務局

清流山水花 あゆの里内 ☎ 6665 ☎ 6505



人吉ロータリークラブ
ホームページ



f フェイスブックページ

[E-mail]

hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

本日の進行

- P1~2 会長の時間、幹事報告
出席率報告、会務報告
- P2~4 青少年奉仕委員会 外部卓話
二二〇・R財・米山・人吉奨学寄付カード

点 鐘 井手富浩 会長
歌 唱 ソングリーダー 青木一幸SAA委員長

国 歌 「君が代」
四つのテスト唱和
R S 「我等の生業」

司会・進行 新堀純子プログラム委員長
来訪者紹介 井手富浩会長

人吉市役所 教育部 教育総務課長 古賀真司 様

会長の時間

会長 井手富浩



皆様こんにちは。まずは来訪者の御紹介を致します。

今月の「青少年奉仕月間」にちなみ、本日卓話をして頂きます、人吉市役所 教育部 教育総務課長 古賀真司様です。御来訪

ありがとうございます。後程のお話しを楽しみに致しております。もうお一人、我々がロータリークラブ 久保山会長です。本日は6/30(土)に開催されます「フォーチュンアクト」について、御案内に来て頂いております。後程、御挨拶を御願います。

さて、5月のガバナー月信に「ロータリーの心得」と題しての記事がありました。ロータリアンがなすべき仕事として、まず「出席」があり、ロータリアンの種類は一つしかない。それは積極的に活動するロータリアン、すなわち 正会員

(アクティブメンバー)である事。そして、ロータリアンの活動として、「個人的な活動」、「クラブの活動」、「業界における活動」、「市民及び慈善的奉仕活動」がありますが、それは、「ロータリーの目的」、「ロータリーに入会し、心の友を得て、他者のために役立つ精神を共に学び合い、自分の職業に高い倫理基準をもって高潔性を保ち、地域社会から、認められる品格をもって事業を行い、社会生活においても常に最善を尽くす気持ち忘れることなく、ロータリアンとして、世界理解と平和のために寄与すること」を基にした活動であり、それを端的に表したのが「入りて学び、出でて奉仕せよ」という言葉だと思います。

さらにガバナーは、自分の事業をより価値のあるものにする活動、クラブにおける活動、同業者組織における活動、市民や慈善団体における活動の成果として、人(ロータリアン)は、どのような利益を期待しているのだろうか、自分が得る利益は、経費と販売価格の間に生じた顕微鏡で見るとは些細なものではない。利益とはすべての人(ロータリアン)がより良く、より大きな人間となり、自分自身や同僚のロータリアンが世界全体に対して、より大きな奉仕を提供する機会が与えられることであり、ロータリーの本質を「超私の奉仕」、「最もよく奉仕する者、最も多く報われる」と断言し、職業奉仕の根本である、個人の職業倫理を自分のクラブ内で磨き、それを業界や社会全体に広めることをロータリアンの使命であると結んでおられます。

「超私の奉仕」「最もよく奉仕する者、最も多く報われる」は、真意は同じで、「相手の事を思いやり、相手の為に尽くす事。自分の事の前に相手の事を考える事。利己から利他へ目的を移すことにより「自利利他」という分かち合いの心である『寛容』の精神が生まれる」という事ですが、この「利他」の考え方は、ロータリアンに限らず、一人一人の個々人にとっても大切な事だと思います。「人」という文字は、人は人によって支えられている存在であることを示しています。事実、この世に一人で生きている人は一人もいません。

換言すれば、人は皆、利他の心によって生かされているのであり、利他の心は人間が生きていく上での必須条件といえます。

孔子は仁（思いやりの心）を説き、釈迦は慈悲を説き、キリストは愛を説いていますが、ともすれば、利己に染まりがちな心を是正すべく、人間存在の本質は、利他にある事をその一語で端的に示したのでしょう。仁、慈悲、愛 三聖人の説くところは、一つであるということです。また、森信三先生の「住相は、やがて還相に転ぜねばならぬ。そして還相の極みは、施であり、奉仕である」という言葉があります。住相とは、自分を創る道、還相とは、人に役立つ道であり、自己を創った後は、人に役立つ道に生きよ、との教えであります。私もロータリアンとして、また一人の人間として、少しずつではありますが、「入りて学び、出でて奉仕せよ」を実践し続けていなければならぬと思っています。

これで会長の時間とさせていただきます。ありがとうございました。

幹事報告

幹事 石蔵尚之

【理事会承認事項】 なし

【連絡事項】

- ・本日はアクトクラブより久保山会長がお見えです。後日、出欠のご案内を出させていただきますが、本日はそのフォーチュンアクト例会についてのご案内があります。
- ・玉名中央RCより週報が届きました。→回覧
- ・青井阿蘇神社国宝指定10周年記念事業期成会並びに奉賛会総会の案内が届きました。
→ 井手会長へ
- ・6月1日は賀寿会につき夜に例会を変更します。18時30分からです。
- ・本日の例会終了後、次々年度ガバナー補佐選出につきまして指名委員会が隣の別室にて開催されます。パスト会長の皆様にはどうぞ宜しくお願い申し上げます。
- ・来週の5月25日例会は会場が変更になり4階で行います。

【次年度より】 次年度幹事 新堀純子
次年度委員会合ご案内

次年度委員会合を開催します。奉仕プロジェクトとクラブ管理運営を 5/31、6/11、6/12の3回に分けて行います。後ほどFAXいたしますので、ご出席を宜しくお願いいたします。

【人吉RAC】 会長 久保山慧美



フォーチュンアクト例会ご案内
第1部 メインプログラム
人吉魅力を見付ける街歩き
第2部 懇親会
多くのご参加お願い致します。

出席率報告

委員 和田栄司

会 員 数	64名	本日の出席率	
出 席 免 除	1名	73.44%	
欠 席 者 数	17名	5/4例会取止め	
出 席 者 数	46名		
免除会員出席者数	1名		

*届け出欠席 馬氷・山田・竹長・平田・片岡・岩下・宮原
有村・岩井・外山・加登住・尾上・大久保・山本
戸高・大賀・友永

*出席免除会員 (b) 愛甲

会務報告

【社会奉仕委員会】 委員長 延岡研一
九州プロレス 山江村を元気にするバイ!!
慰問報告とチケット販売のお願い

【親睦委員会】 ゴルフ会担当 塚本哲也
5月ゴルフ案内
日 時: 5月30日(水)
10時6分スタート
場 所: クラウンゴルフクラブ
多くの参加をお待ちしております。

【青少年奉仕委員会】

青少年奉仕月間卓話

講師紹介 委員 後藤竜一

本日の講師 人吉市役所 古賀真司様です。
古賀様は昭和42年生まれの51歳、人吉生まれの人吉育ちで、現在、市内北泉田町にお住まいです。

平成9年4月人吉市役所に入庁され、以後、経済部観光振興課「国民宿舎くまがわ荘」勤務を皮切りに、教育委員会生涯学習課、商工振興課、社会福祉事業団「希望ヶ丘学園」主任支援員、地域生活課消防主任、同課危機管理係長、教育部学校教育課教育係長、同課課長補佐、社会教育課長を歴任され、本年4月から、教育部教育総務課長をお務めでございます。

本日は、人吉出前講座として、青少年教育等に関する3つの取組みをテーマにお話いただきます。古賀様、宜しくお願いいたします。

[人吉市出前講座]

教育部教育総務課長 古賀真司 様



本日はこのような機会をいただきまして誠にありがとうございます。御紹介いただきました、人吉市教育委員会の古賀と申します。どうぞ宜しくお願いいたします。

これから、本市が進めております3つの取組についてお話しさせていただきます。1つ目は「地域学校協働活動」、2つ目は「小学校部活動の社会体育移行」で、いずれも本格的にスタートするのは来年4月からとなります。3つ目は「スポーツボランティア」で、制度化すべく様々な検討しているところがございますので、そのあたりを予め御了承いただければと存じます。それでは、早速「地域学校協働活動」から御説明してまいります。

地域学校協働活動

現在市は、学校の様々な教育活動を地域ボランティアの方々に支援していただく「学校支援活動」に取り組んでいます。これを一歩進めまして、地域と学校がともに協力し合っって子どもたちを育てていく「地域学校協働活動」に発展させたいと考えております。

なぜ今この活動が必要なのかといいますと、背景には人口減少等の社会の急速な変化がございます。当然子どもを取り巻く状況も大きく変化してきております。例えば、いじめ、不登校の問題、暴力行為や要保護・準要保護児童生徒の増加、最近では日本語支援が必要な外国人児童生徒も増えてきております。本市においても例外ではなく、経済的に厳しい世帯も増えておりますし、外国籍あるいは外国にルーツを持つ児童生徒は市内の小・中学校に現在30名在籍しており、今後も増える可能性があります。こうしたことから、もはや学校や教員だけでは対応が困難になってきているということが全国的に問題になっているわけです。

国は地方創生実現のキーワードとして、「教育の力で地域を変える」を掲げ、「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方」について、次の3つの柱が示しました。一つ目は、開かれた学校から「地域とともにある学校への転換」、二つ目は、「子どもも大人も学び合い育ち合う教育体制の構築」、三つ目は「学校を核とした地域づくりの推進」です。登下校の見守りや学習支援、環境整備支援など、何かをしてもらうというこれまでの活動から一歩進め、地域住民や企業等と協力して取り組む地域学習や職場体験などを通して、よりよい社会を創るという目標を学校と地域で共有しながら子どもを育成し、かつ地域づくりに資するということが求められています。（中略）

核家族化が進み、地域コミュニティの希薄化が懸念されるこの時代において、地域で子どもを育成するこの取組を推進するためには、住民をはじめとする地域の理解が不可欠です。この取組を広く周知することはもちろん、協力者たる人材を十分に確保しなければならないなど、学校にも地域にもまだまだ課題が多くございます。市教育委員会としましては、地域の発展や地域の未来を担う子どもたちの成長に向けてのビジョンをもとに、「地域学校協働活動」を推進してまいりたいと考

えております。

小学校運動部活動の社会体育移行

次に、小学校運動部活動の社会体育移行について御紹介します。

この取組は、熊本県教育委員会が平成27年3月に策定した「児童生徒のための運動部活動及びスポーツ活動の基本方針」で、平成31年4月から小学校の運動部活動を民間のスポーツクラブや地域の人材の指導による社会体育へ移行するという方向性を示したことを受けて始まりまして。県内の各自自治体はそれぞれ検討を始めたわけですが、これがなかなかの難題です。（中略）

本市では各校区に検討委員会を設置し協議を重ねてまいりました。その結果、小学校におけるスポーツ活動は、児童の発達段階に応じた運動の場とすることはもちろん、バランスのとれた体づくりや、運動の楽しさを味わわせるためにも、特定の種目に継続的に取り組むのではなく、多様なスポーツ活動に取り組むことを基本に進めていくことを確認しました。併せて、子どもたちの安全や保護者の安心につなげるためにも、放課後に各学校で行うという方針についても納得していただきました。

児童のスポーツへの興味・関心を高めるとともに、自分の可能性を見出すなど、生涯のスポーツライフのきっかけを創る場とするためにも、市では、次の3つの基本方針を柱に活動を推進したいと考えています。第一に、児童の教育活動の一環として実施するという事です。これは、発達段階を考慮した運動とすることや、社会性、コミュニケーション能力の育成、勝利至上主義に陥らないよう配慮するという事などを念頭に置いています。第二に、地域とともにある活動として実施するという事です。地域人材を積極的に活用し、地域全体で子どもに関わってもらうことで、地域づくりに寄与することを狙いとしています。第三に、スポーツの特性を生かした取組として実施するという事です。スポーツの楽しさや達成感、充実感などを味わうとともに、仲間と喜びを分かち合うことの素晴らしさを経験させたいという思いがありますし、ルールやマナーを学びながら、自ら考え、自ら判断する能力を培うという目的も含まれます。

今年度は、各学校とも今まで通りの部活動が実施されていますので、準備・移行期間と位置付けています。2学期後半から3学期にかけて試行を行い、児童や保護者の皆様に、小学校の部活動がどのように変わるのかを理解していただき、来年度、多くの参加者が得られるよう努めたいと考えているところです。

実際にスポーツ活動を進めていくにあたっては、活動場所及び道具の借用について、また、活動開始までの児童の見守り等について、可能な範囲での協力を各小学校にお願いしてまいります。スポーツ指導につきましては、現在、市体育協会と協議をさせていただいています。毎週確実に派

遣していただけるよう、その人材確保について継続して協議を行ってまいります。また、安全に実施できるよう、できるだけ多くの力、多くの人の目がほしいところですので、地域在住のスポーツ愛好家の方や保護者にサポーターとなっただくシステムを考えています。指導者とサポーターが連携して子どもたちの運動指導を行いながら、サポーター自身も子どもたちと一緒に運動して健康になっていただければ、個人の健康増進、ひいては地域の活力にもつながるものと考えているところです。

様々な課題を克服し、子どもたちの運動離れや、運動する子としない子の二極化を招くことのないよう努力してまいります。皆様方の御理解と御協力をお願いいたします。

スポーツボランティア

最後に、スポーツボランティアの取組について御紹介します。

各種のスポーツイベントを市民の皆様楽しんでいただくことはもちろん、大会を安全かつ円滑に運営するためには、多くのスタッフが必要になります。市が主催する大会においては、それぞれの競技団体が審判や進行を行うなど主体的に関わっていて、市教育委員会の職員は大会事務局を務めたり、準備・運営をサポートしたりしています。しかし、多様化する参加者のニーズに応えながら、大会をより安定的に、安全に実施するためには、まだまだ多くのマンパワーが必要です。そこで、スポーツを愛する方をはじめ、地域を盛り上げるのに一役買おうと思っている方に参加・協力いただく制度として検討しているのが「スポーツボランティア」です。

市が主催するおもなスポーツイベントとしては、4月のおどんな日本一武道大会少年剣道大会、同じく高校生弓道大会、5月の市民早起きソフトボール大会、12月の人吉駅伝大会、そして2月のひとよし温泉春風マラソンがございます。こうした大会に関わっていただくために、現在、次の3点について検討しています。まず、ボランティアの登録・連絡システムや保険について。次に、それぞれの大会におけるボランティアの役割についてです。これに関しては、競技団体と協議する必要がありますので、募集を始める前に詳細に検討し明確にしておきたいと考えています。それから、帽子やTシャツなどのスタッフ衣装について検討中です。地域学校協働活動や小学校部活動の社会体育移行同様、地域住民の皆様のお力を借りながら実施する、「みんなで作る、みんなで楽しむイベント」の実現に向けて取り組んでいるところです。

まとめ

いずれの活動も、働く世代の方はなかなか参加が難しい面があるかと思いますが、ボランティア活動のポイントは、できるときに、できる人が、無

理のない範囲ですることだと考えておりますので、心得としては、「無理せず、気負わず、できるだけ長く」をモットーに御協力いただければと存じております。

今後とも、本市の事業につきまして御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます、私の話を終わらせていただきます。ありがとうございます。

【寄付カード】 ニコニコ箱委員会 山本知枝

- ・**肥後銀行 安方晃様** (元人吉RC会員) 大変御無沙汰しております。久しぶりに皆様とお会い出来て感動しております。
- ・**葉山会員** 古賀課長、出前講座ありがとうございました。10年前、コミュニティースクールにPTAで関わった事を思い出しました。
- ・**井手会長** 古賀様、本日の卓話ありがとうございました。安方様、御来訪ありがとうございました。久保山アクト会長「フォーチュンアクト」の御案内ありがとうございました。応援に行きます。
- ・**鳥井会員** 古賀真司課長、地域学校協働活動の説明ありがとうございました。課題も多いと思いますが、積極的なお取組を宜しく願います。
- ・**石蔵幹事** 古賀様、お忙しい中、卓話ありがとうございました。取材の折は宜しくお願い致します。
- ・**堤脩会員** 私の病院の施設にプロレスラーの訪問をしていただきました。有難うございました。
- ・**安達会員** プロレスとかぶってしまいました。6月17日(日)に人吉カルチャーパレスにて、あゆの里様の協賛をいただき郷土の歌手中心による音楽歌謡フェスタが開催されます。娘の天音みひろも出演しますのでチケット希望の方は、私かあゆの里様にお申し付け下さい。宜しくお願い致します。
- ・**浅野会員** 弊社のピーク電力制御装置エレワイズが特許取得しました。人吉初のようなです。環境取組みで自治体からの引合いが増えて来ました。特許を武器に拡販を行ない地球環境保全に貢献して参ります。
- ・**淵田会員** 会議のため早退致します。

〈人吉奨学基金委員会〉

- ・**後藤会員** 古賀課長貴重なお話をありがとうございました。
- ・**安達会員** ニコニコカードと同文

点 鐘 井手富浩 会長